令和5年度 学校評価(全日制課程)

評議員名	中村 泰三氏 二ツ谷 健宏氏	中村 ひでの氏 塗 政江氏	戸高 由紀子氏
-------------	-------------------	------------------	---------

自己評価 (4:十分 3:おおむね良い 2:やや不十分 1:不十分)					学校関係者評価						
分野・領域	評価項目	達成度				今年度の実施内容と反省	自己評価に対する意見				
		4	3	2	1						
学習指導	授業改善による学力向上	3	26	9	0	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識や技術を用い、思考力・判断力・表現力を育成できた。 ・ 生徒個々に合わせた到達目標の設定と適切な評価ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技能の習得はもとより社会人として恥ずかしくない基礎学力や教養の習得を期待する。 			
	家庭学習の習慣化	0	11	26	0				2.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習課題等による動機付けにより、家庭学習時間を増加させる必要がある。 ・ 主体的で計画的な学習活動を身に付けさせられるよう教員自ら研修等に参加し資質向上を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習の習慣化を目指すならば、はじめの一步は簡単な課題を出し提出させてはどうか。
生徒指導	望ましい人間関係の育成	1	27	8	1	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの早期発見・早期対応に努めることができた。 ・ 面と向かって人と向き合える生徒が減ってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒を取り巻く環境が刻々と変化している現状を踏まえ、家庭や地域関係機関との連携を推進することを期待する。 			
	生徒との信頼関係の確立	5	27	5	0				3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課外活動等を含め、連帯感・協調性・達成感を育成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめによって命を落とす生徒もいることから、今後もいじめの早期発見、適切な対応を期待する。
	保護者等との適切な連携	3	29	5	0						
進路指導	キャリア教育の充実	4	28	4	1	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員全体で共通認識（育てたい生徒像）を持たず、議論もせず学校全体が動いており、生徒が困惑している。 ・ 生き方を模索させる余裕と実践が圧倒的に少ないままの現状ではキャリア指導がなされているとは言えない。 ・ 自己の特性を理解し、明確な進路意識の向上を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「企業が求める人材」を意識した授業を増やし、人前で話す力や自分を表現できる生徒を育てて欲しい。 ・ 生徒が、地域貢献できるよう、高校生活では、キャリア教育をお願いしたい。 ・ 就職、進学については、生徒の進路実現をサポートする体制の整備をお願いしたい。 			
	多様な体験活動の実施と進路意識の明確化	4	24	9	0				2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路実現に向けた各種情報を適切に提供することができた。 ・ 面談等を通じて進路決定までの手続きの提供と確認ができた。 	
	保護者等との適切な連携	1	31	5	0						2.9
健康安全指導	教育相談体制の充実	4	27	5	1	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段からの相談相手として教員側が信頼されておらず、重大な事案になるまで教員に相談しない生徒が多い。生徒が遠慮するほど職員が忙しすぎることも一因だが、指導の温度差、理不尽さ、生徒への配慮不足、生徒を下に見る姿勢など、教員個人の姿勢に問題がある場合が多い。 ・ 健康指導や健康相談を通じて、健康・安全意識の向上と自己管理能力を育成することができた。 ・ 交通安全指導等を通じ、交通事故等の予防指導ができた。 ・ 地域の実態に応じた防災訓練を計画・実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な悩みを抱える生徒に対応できるよう、スクールカウンセラーを有効に活用するなど、教育相談の体制強化に係わる研修にも教職員が参加するよう努めてほしい。 ・ 家庭や保護者との連携を深めながら、自らが食生活を始めとする体調管理ができるよう指導してほしい。 			
	自己管理能力の育成	1	28	8	0				2.8		
	安全教育の充実	4	29	4	0					3.0	

自己評価 (4:十分 3:おおむね良い 2:やや不十分 1:不十分)					学校関係者評価		
分野・領域	評価項目	達成度				今年度の実施内容と反省	自己評価に対する意見
		4	3	2	1		
信頼される学校づくり	特色ある教育活動の推進	3	28	6	0	各学科の特色を明確にした専門的な教育活動ができた。	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会と連携した取り組みを更に充実させ実施してほしい。 学校のホームページによる学校情報の発信は、毎日更新され良かった。 保護者や地域の意見を教育活動に反映させてほしい。 信頼される学校づくりのために、服務規律の厳守を継続して欲しい。
	2.9				<ul style="list-style-type: none"> 地域社会や関係諸機関との連携を図り、幅広い教育活動ができた。 地域の教育力や資源を活かし、講話・講演等の教育実践ができた。 		
	地域の教育力や資源の活用	3	22	13		0	
	2.8				<ul style="list-style-type: none"> 地域行事への協力等、地域貢献を工夫して実施できた。 中学校、大学、企業との連携による教育活動を推進できた。 		
	教育力の地域還元	3	19	15		0	
	2.7				<ul style="list-style-type: none"> Webページを最大限に活用・随時更新し、学校情報の発信に努めた。 		
	情報発信の充実	3	24	10		0	
2.8				<ul style="list-style-type: none"> 講習を多く行わねばならない現状の分析が行われているのでしょうか？ 講習を減らすための工夫（授業を改善する動きなど）として何が行われているのか、いないのか、全く見えません。現状のままでは、教育相談の充実も課外活動の充実も不可能です。 			
学校評価の充実	0	19	17		1		
2.5				<ul style="list-style-type: none"> 授業時数確保やオンライン学習による学習保障ができた。 			
適切な教育課程の管理	3	26	8		0		
2.9				<ul style="list-style-type: none"> 公私に渡り、教育公務員としての自覚ある行動ができた。 私費会計等を協働管理し、相互牽制による点検・管理ができた。 			
服務規律の厳守	6	27	4		0		
3.1				<ul style="list-style-type: none"> 課題の共有化が全くできていない。(職員研修会しましょう) 			
教職員の連携強化	0	17	19		1		
2.4				<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルの確認・活用を図ることができた。 定期的に適切な校内点検を行い、事故の未然防止に努めた。 各担当管理教室を適切に点検・整備することができた。 			
危機管理体制の確立	1	26	10		0		
2.8				<ul style="list-style-type: none"> 研修会なし、授業の相互見学なし、大人の成長なしに生徒の成長は期待できない。 			
研修活動の充実	1	17	18		1		
2.5				<ul style="list-style-type: none"> 研修不十分なので、共有化もしない。 学校課題や教育課題等、タイムリーで効果的な校内研修を計画・実施する必要がある。 			
研修成果の共有化	0	17	19		1		
2.4				<ul style="list-style-type: none"> 勤務時間内に仕事が終わらない、やらなければならないことが多く、縮減どころか益々増加する一方である。 			
働き方改革	3	10	20		4		
2.3				<ul style="list-style-type: none"> 日々変わる社会情勢の中であるからこそ、教える側は各種研修に参加をして情報共有し、アップデートを図ってほしい。 生徒への教育の質をおとすことなく、労働環境の改善を図ってほしい。 			
その他							